

熊本県におけるデジタル戦略について

令和5年(2023年)10月1日

熊本県デジタル戦略推進課長 受島 章太郎

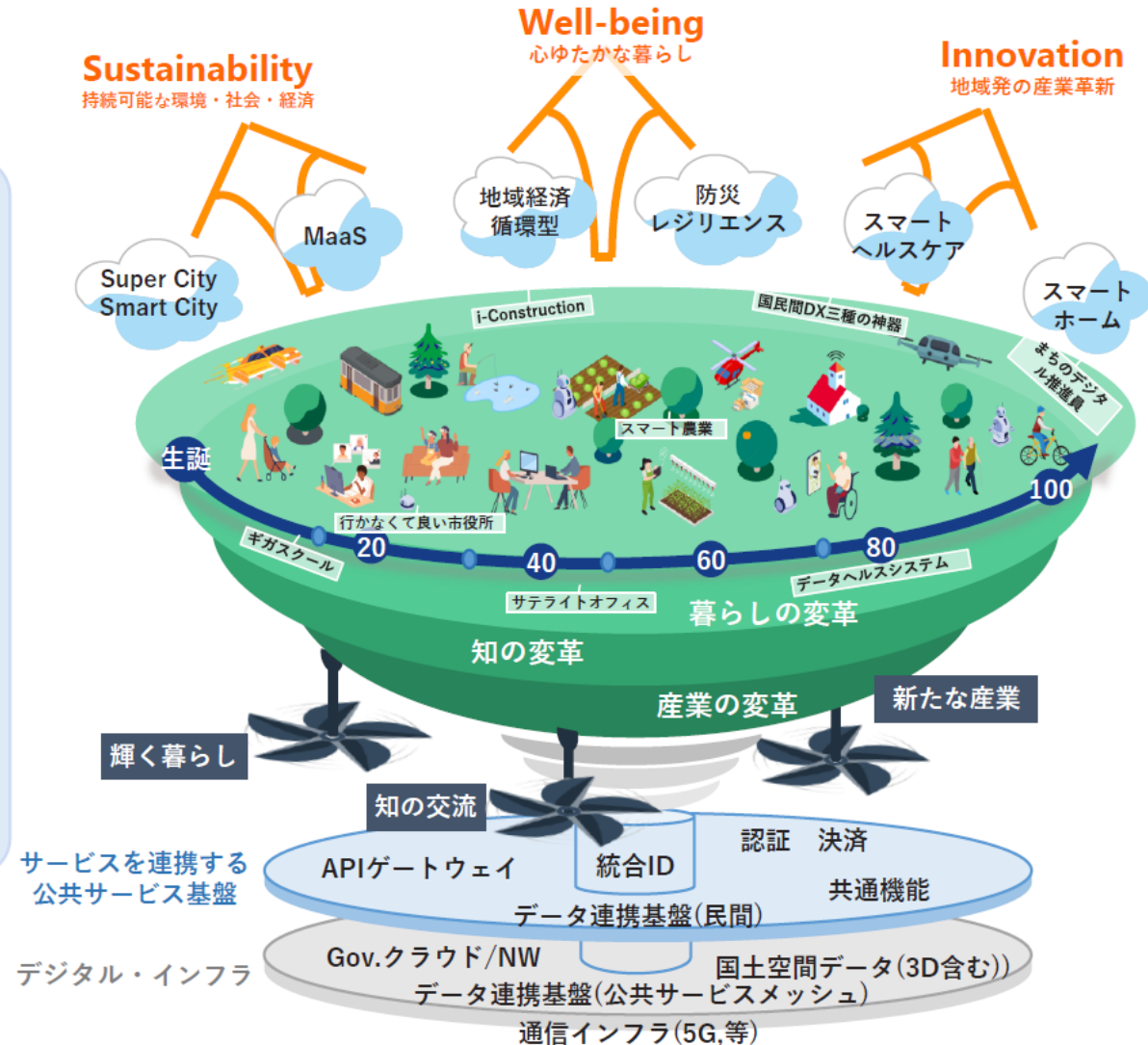
1. デジタル田園都市国家構想について

1. デジタル田園都市国家構想について①

- デジタルの力で、「暮らし」「産業」「社会」を変革し、地域を全国や世界と有機的につなげていく取組。
- 国が整備するデジタル基盤の上に、共助の力を引き出し、各地域で全体最適を目指したエコシステムを構築する。
- 常時発展・改革していくためにも、知の中核として大学を巻き込み、関係者全員でEBPMを実践することが必要。

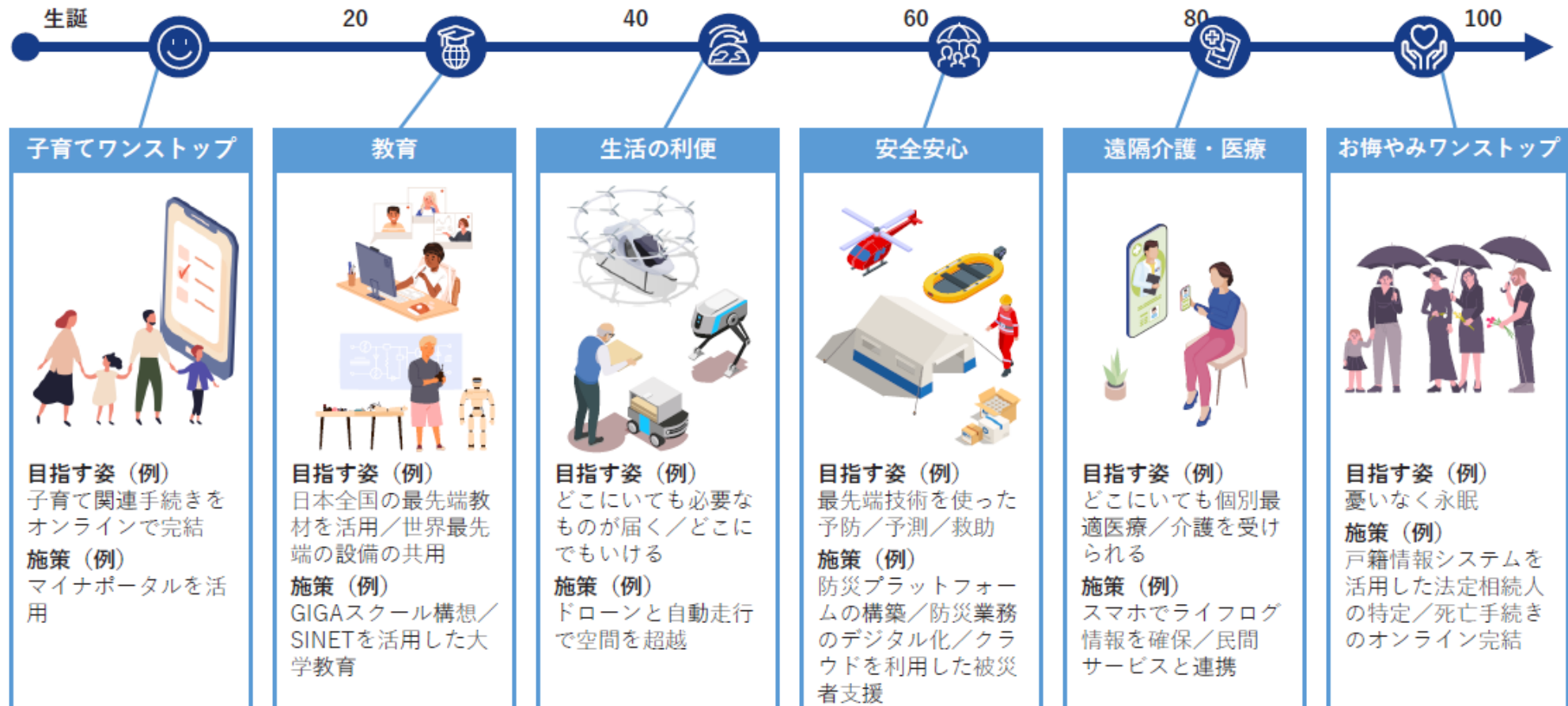
● 5つの成功の鍵

- ① 人の一生涯の暮らしや生きがいと、地域の新たな産業をデジタルでフル・サポート。
- ② そのため、国、自治体、市民、大学、産業など関係者の力を特定ビジョンの下に総動員。
- ③ 社会活動に必要な機能を近接した空間に集め、その関係性を深めるよう、地域の空間全体も再設計。
- ④ 参加する全関係者がEBPMのサイクルを共有し改善の有無を検証し、取組の方向性を確認。
- ⑤ 構造化されたデジタル共通基盤（インフラ、データ連携基盤・公共メッシュ、サービス）の整備・浸透。



1. デジタル田園都市国家構想について②

- 現在は、多くの場合、教育、仕事、治療・介護、などのために「地域」から離れざるをえない環境。
- これからは、ゆりかごから墓場まで「田園都市」で最先端の知、仕事、文化とふれあい、デジタルの力で教育から生活、医療に至るまで時空を超えて最先端サービスを提供。
- 制度的課題はデジタル臨調で解決。



1. デジタル田園都市国家構想について③

1 デジタル庁 発足

令和3年（2021年）9月

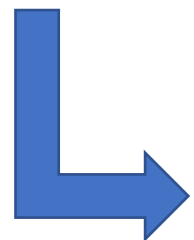
2 デジタル田園都市国家構想

（「基本構想」：令和4年6月7日閣議決定）

地方の社会課題

- ・人口減少・少子高齢化
- ・過疎化・東京圏への一極集中
- ・地域産業の空洞化

（デジタル実装）



☆デジタル化の恩恵を国民や事業者が享受

☆「全国どこでも誰もが便利で
快適に暮らせる社会」

2. 熊本県におけるデジタル化・DX施策の 必要性、熊本県の状況

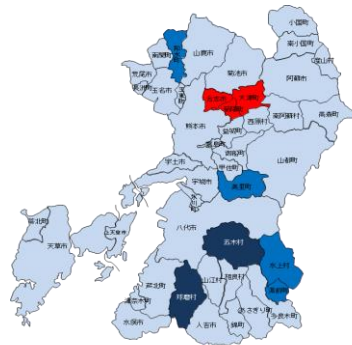
～グラントデザインとコンソーシアム～

2. 熊本県におけるデジタル化・DX施策の必要性、熊本県の状況①

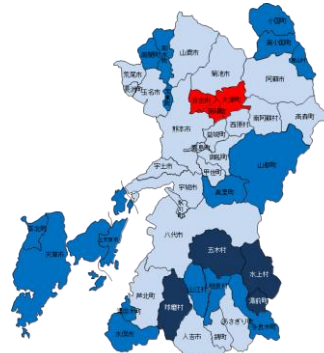
人口減少の見通し

2010年度を基準とした人口減少段階

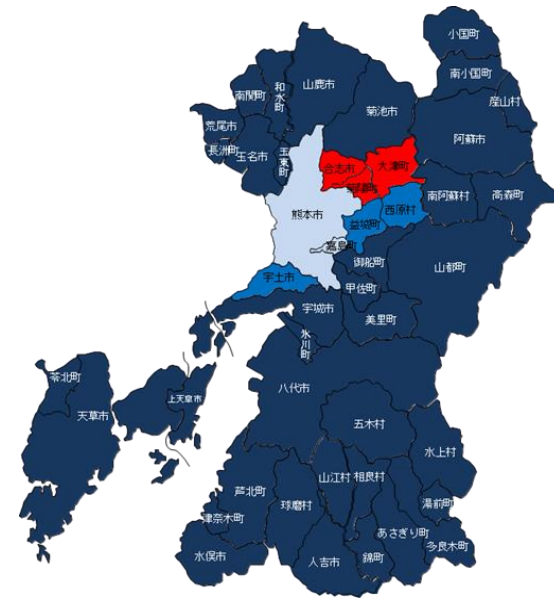
- | |
|-------------------------------------|
| 第1段階：老年人口増加、年少・生産年齢人口減少 |
| 第2段階：老年人口維持・微減（減少率10%未満）年少・生産年齢人口減少 |
| 第3段階：老年人口減少、年少・生産年齢人口減少 |
| 人口増加 |



2020年



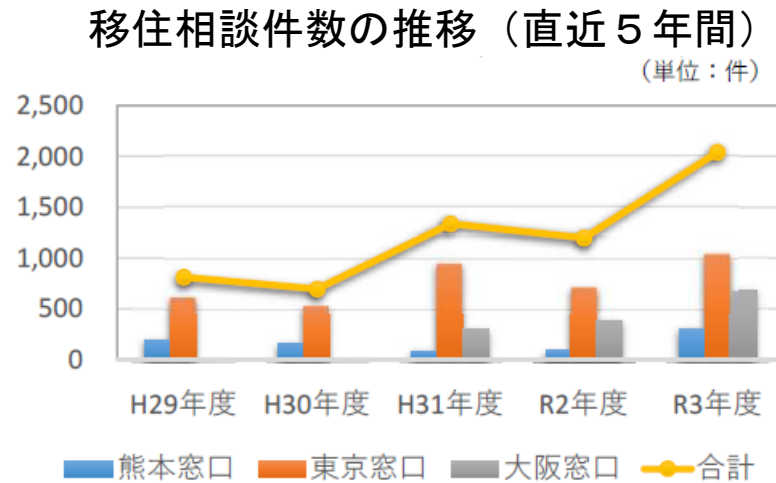
2030年



2045年

日本の地域別将来推計人口（社人研）より作成

2. 熊本県におけるデジタル化・DX施策の必要性、熊本県の状況②



県外からの移住者数

2021年度 ● 2,025 人
2020年度 ● 1,620 人
2019年度 ● 2,074 人

参考：熊本県企画振興部地域振興課資料より

デジタルとは

- 人口減少社会を前提とした地域・企業活動再構築の切り札
- 移住定住、U I Jターン、誘致企業など地域活性化の切り札

2. 熊本県におけるデジタル化・DX施策の必要性、熊本県の状況③

DXに取り組む背景

- 人口減少 ・ 人手不足

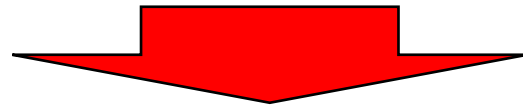
- ⇒地域活動、行政運営など既存制度の維持が困難と予測

- ⇒あらゆる産業における人手不足、競争力の低下

- デジタル技術の進展 ・ 新たな価値観

- ⇒デジタル技術の活用が活発化

- ⇒テレワークなど場所にとらわれない働き方の定着化



デジタル社会の形成は、熊本県において極めて重要

2. くまもとDX推進コンソーシアムの取組み①

「くまもとDXグランドデザイン」の策定

- 産・学・行政共通の「**羅針盤**」
- 令和4年2月に策定

重点的な取組み分野

(1) 産業振興、所得向上

①ものづくり産業 ②農業 ③観光

(2) 快適安全な生活環境づくり

④ヘルスケア ⑤防災 ⑥生活利便性向上 ⑦教育環境

(実現)

デジタル技術の活用

産学行政による「DX機運醸成」と「共創」



2. くまもとDX推進コンソーシアムの取組み②

くまもとDX推進コンソーシアムの設立

- 「くまもとDXグランドデザイン」の具体化に向け産学行政が連携するための枠組み
- 令和4年6月に設立
- 会員数は、県内外から 473 企業・団体

<コンソーシアムの役割>

- ①県内のDX機運醸成
- ②DXに関する情報発信と会員間での情報交換
- ③様々なプロジェクトの実施



2. くまもとDX推進コンソーシアムの取組み③

(1) DX機運の醸成

- くまもとDX推進コンソーシアムにおけるイベント、各種セミナーの開催
- DX事例の紹介等会員への情報発信

<イベント>

くまもとDX推進コンソーシアム主催 オープンイベント

一歩踏み出すDX

多くの企業がDX推進の必要性を認識している一方で、何から始めればいいのか分からないという声も聞かれます。DX推進に踏み出す第一歩として戦略的なDXの進め方に関するイベントを開催します。

日時 令和5年7月20日(木) 13:30~16:00 (開場 13:00) 定員 200名
会場 熊本城ホール(2F シビックホール) 参加費 無料
熊本市中央区桜町3-40

PROGRAM 01 基調講演

「ヒトモノカネを言い訳にしない
DX推進の考え方と変革への道筋」

森戸 裕一(もりと ゆういち)氏
一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会 代表理事
内閣府より全国で5名の第一「シェアリングエコノミー促進部」に任命され、自治体と連携した地方創生支援やデジタルトランスフォーメーション推進を軸にした全国の企業人材育成・経営指導に尽力。デジタル化による組織や地域の変革支援を得数分野とし、全国から年間200以上の講演オファーを受ける。

PROGRAM 02 県内DX導入事例発表/トークセッション

【導入事例】株式会社杉養蜂園「変化に適応するためのDX活用」
上席執行役員 情報システム部長 兼 総務部長 兼 CRM部長 古荘 輝幸 氏

【導入事例】株式会社明和不動産「不動産賃貸借契約における手続きのDX」
賃貸事業部エリアマネージャー 川井田 昌康 氏

PROGRAM 03 令和4年度 DX公募型実証事業事例発表

株式会社スカイマティクス「令和4年度PoC事例紹介 〜ドローンで進めるDX〜」
代表取締役社長 渡邉 善太郎 氏

PROGRAM 04 企業紹介ブース

デジタルサービスやソリューションの紹介・相談ができるブースを設置します。

PROGRAM 05 相談窓口

DX推進や社内のデジタル化に関する様々なお悩みの相談窓口を設置します。
※相談対応事業者は募集をご覧ください。

申込受付中



<各種セミナーなど>

データ活用スキルを習得してDXを推進！
受講生募集！

データ活用ブートキャンプ

デジタル社会に必須の「データ」。
全12回のプログラムを通じて、データの収集・分析・改善プランの策定など、必要なスキルを習得し、デジタル人材の育成をめざす研修プログラムです。
共に学び、刺激しあいながら、DXを推進しましょう！

●対象 象：データ活用スキルを習得し、自社や地域のDX推進を目指したい方

●開催期間：2022年11月 ~ 2023年3月

●開催日時：火曜日 18:00~20:00 (1回2時間、全12回)
[第1回:11/29, 第2回:12/6, 第3回:12/13, 第4回:12/20, 以降順次開催予定]

●開催方法：基本オンライン(Zoom) ※必要に応じ現地参加も可能

●募集人数：15名程度
※募集人数を上回るお申し込みをいただいた場合は、お申し込みの順にご記入いただいた「データ分析により解決したい課題」等を踏まえ、次回以降のお申し込みを御願いさせていただきます(次回以降の開催予定：2023年度 上期/下期で開催を予定)



データドリブとはなにか？なぜ必要か？

データドリブな組織 = データを基盤として駆動する組織

ファクト 経験、勘、直感、バイアスによるファクトとしてのデータを駆動とする。

自己勘 データを味方につけて誰もがフェアに「正しい」判断と判断をし、個人が強くする。

改善 集団に基づいて一歩を踏み出し、データを基に2歩、たゆまない改善を行う。

くまもとDX推進DXセミナー第1回_Recording

2. くまもとDX推進コンソーシアムの取組み④

(2) 企業の取組み支援

●マッチング機会の提供(イベント開催、会員交流サイト など)

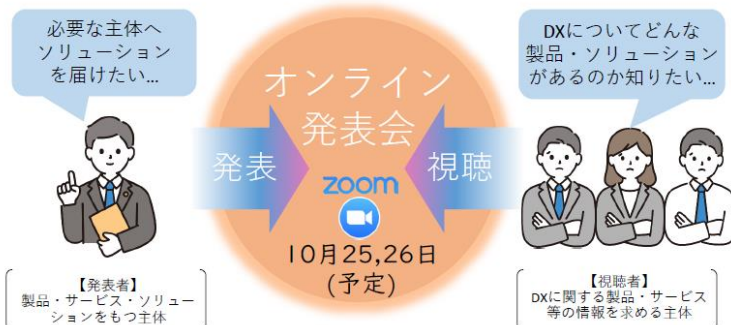
<R4:オンラインピッチ>

「くまもとDXブランドデザイン」で描くビジョンの実現に向けたソリューションを募集します。

DXソリューション オンラインピッチ 開催決定!

くまもとDX推進コンソーシアム

貴社のソリューションを
広くPRするチャンス!



<R5:マッチングイベント>

熊本県主催

DXマッチング商談会

御社のソリューションを企業団体へ提案しませんか?

日時 令和5年 10月18日(水)
13:30~17:00(開場13:00) 参加費 無料

会場 グランメッセ熊本 (2階「コンベンションホール」)
熊本県上益城郡益城町福高1010

DXを進めたい県内企業に対して、皆様からソリューションの提案を行い、DXの導入促進を図るものです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 募集数
・40社(予定) ※応募多数の場合は、DX導入企業との協議により選考予定
- 募集対象
商談会において、デジタル技術等を活用した商品やサービスなど(デジタルソリューション)を提案する企業を募集します。
※くまもとDX推進コンソーシアム会員に限る
未加入の団体は、参加申込期限(8月31日(木))までに加入ください
- 募集期間
・令和5年8月31日(木)まで
- 申込方法
・下記の参加お申込みフォームから、お申込みください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-kumamoto-u/offer/offerList_detail?tempSeq=12023
- 特徴
・1商談あたり25分。当日は、最大5社に対する商談機会があります。
・ソリューション企業がDX導入予定企業のブースを訪問する商談形式で実施します。
- その他
・当日の運営などの詳細については、後日ご連絡いたします。

<R4~:会員交流サイト>

くまもとDX推進コンソーシアム 会員専用
情報プラットフォーム
3月1日 OPEN

コンソーシアム会員の皆様のDXをお手伝いするため、
会員専用の情報プラットフォームを設置します

DXっていうけど、
実際みんなどんな
ことをやっている
んだろう?

DXに取り組みたいけど、
どんな製品やサービスがあるんだろう?

うちの製品紹介したいな~

熊本で一緒に
DXに取り組む
仲間が欲しい!

相談できる人が
社内にいない...

先日のイベントに
行けなかったけど、
見逃し配信はないかな?

その悩み、「情報プラットフォーム」が解決します!

- ソリューション
の検索・登録 会員が提供している製品・ソリューションを検索できます
自社の製品・ソリューションを登録してPRできます
- アーカイブ
閲覧 コンソーシアムが行ったイベント・セミナーの
動画や資料がいつでも確認できます
- チャットルーム
での会員交流 掲示板感覚で自由に意見・情報交換できます
事務局がビジネスマッチングをサポートします

情報や意見を交換しあいながら、一緒にDXに取り組みましょう!

3. ヘルスケア分野におけるDXの動き

3. ヘルスケア分野におけるDXの動き①: 県の取り組み

福祉現場におけるICT等を活用した勤務環境改善と魅力度アップ

- 介護、児童福祉、障がい福祉等の各現場における、業務支援に係る ICT や ロボットの導入 により職員の負担軽減や業務効率化に取り組む。
- AI や SNS を活用した子育て等の相談支援。

対応記録の
省力・自動入力



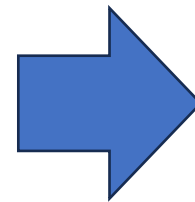
AI等による
相談窓口支援



ロボットによる
移動等の支援



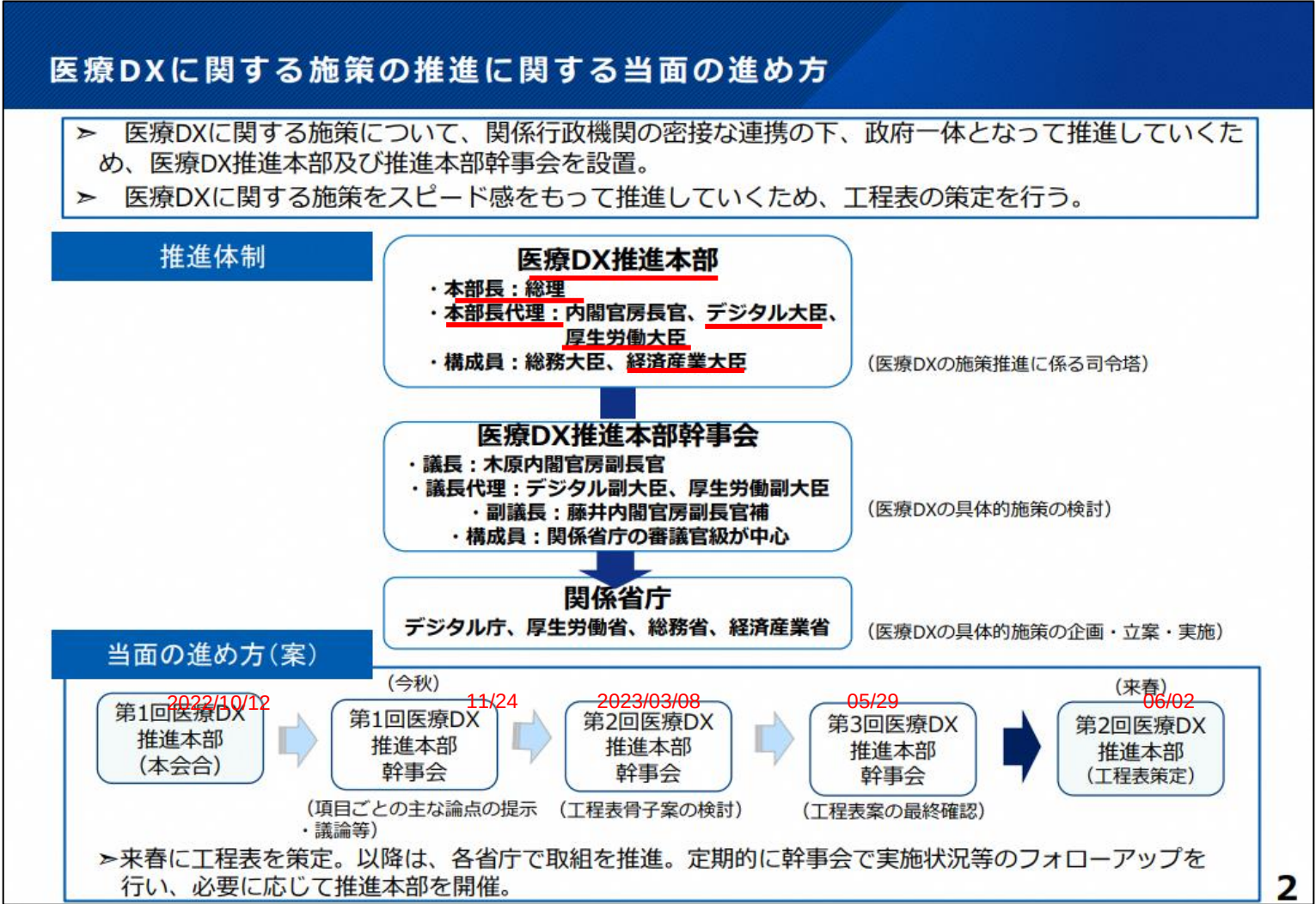
現場の負担軽減
×
業務効率化



- サービスの質の向上
- 人材の確保と定着

3. ヘルスケア分野におけるDXの動き②:国の取組み

- 国は医療DXに関する施策を、関係行政機関の密接な連携の下、政府一体となって推進するべく、「医療DX推進本部」及び「医療DX推進本部幹事会」を設置
- 推進本部は本部長を総理とし、内閣官房長官・デジタル大臣・厚生労働大臣を本部長代理、総務大臣・経済産業省大臣を構成員とする推進体制。第1回は2022/10/12に実施



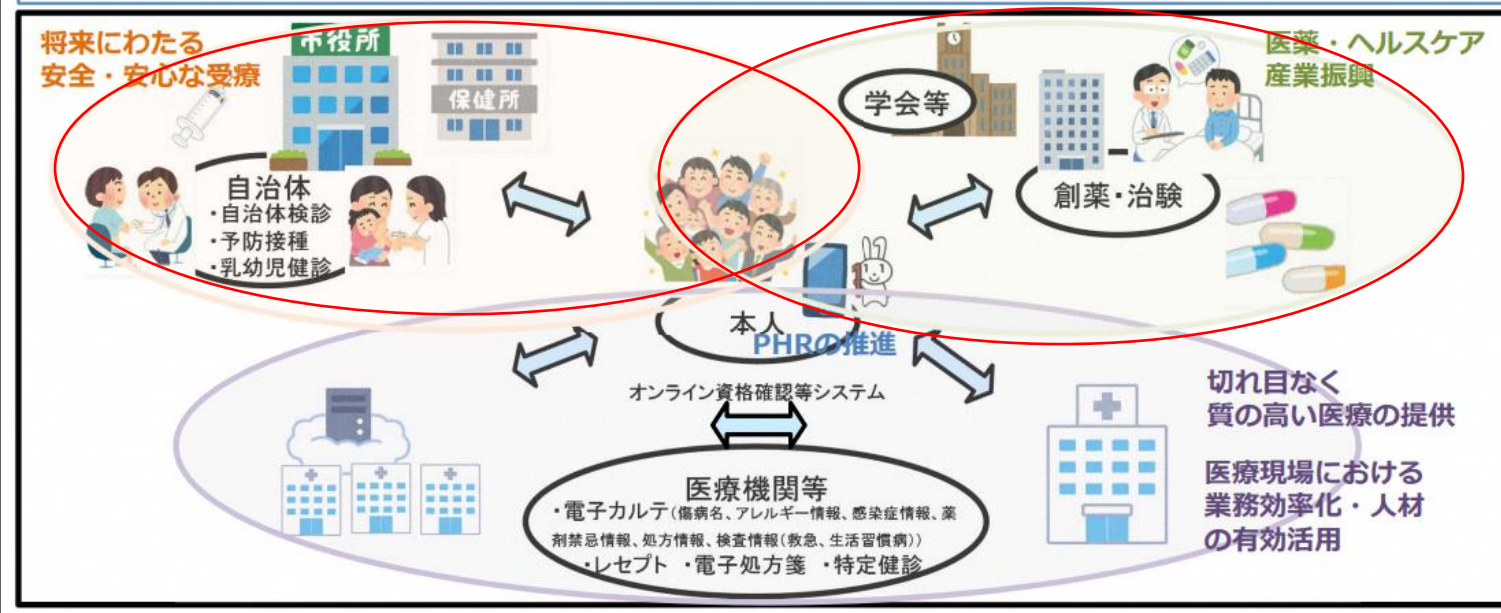
3. ヘルスケア分野におけるDXの動き③:国の取組み

- 医療DXにより、「保健医療データを自分自身で一元的に把握可能となり、個人の健康増進に寄与」、「全国の医療機関等が情報を共有により、切れ目のない質の高い医療の提供」、「保健医療データの二次利用による医薬産業やヘルスケア産業の振興」が実現される社会が期待できる

医療DXにより実現される社会

資料4(厚生労働大臣提出資料)

- 誕生から現在までの生涯にわたる保健医療データが自分自身で一元的に把握可能となることにより、個人の健康増進に寄与
→ 自分で記憶していない検査結果情報、アレルギー情報等が可視化され、将来も安全・安心な受療が可能【PHRのさらなる推進】
- 本人同意の下で、全国の医療機関等が必要な診療情報を共有することにより、切れ目なく質の高い医療の受療が可能【オンライン資格確認等システムの拡充、電子カルテ情報の標準化等、レセプト情報の活用】
→ 災害や次の感染症危機を含め、全国いつどの医療機関等にかかっても、必要な医療情報が共有
- デジタル化による医療現場における業務の効率化、人材の有効活用【診療報酬改定に関するDXの取組の推進等】
→ 次の感染症危機において、必要な情報を迅速かつ確実に取得できるとともに、医療現場における情報入力等の負担を軽減し、診療報酬改定に関する作業の効率化により、医療従事者のみならず、医療情報システムに関与する人材の有効活用、費用の低減を実現することで、医療保険制度全体の運営コストを削減できる
- 保健医療データの二次利用による創薬、治験等の医薬産業やヘルスケア産業の振興【医療情報の利活用の環境整備】
→ 産業振興により、結果として国民の健康寿命の延伸に資する



4. 県・市町村の取組み

4. 県・市町村の取組み ケース①荒尾市



■健康増進・未病・予防に関する取組み

- ・健康増進サービス（食事運動等の健康管理、クーポンによる健康促進）
- ・AI健康シミュレーション（過去の特定健診結果からAIで傾向予測）

■デジタル健康手帳に関する取組み

- ・マイナンバーカードによる本人確認、医療情報連携
- ・医療機関の診察、服薬、健康記録のリアルタイム管理
- ・本人同意による家族間、医療機関との情報共有



4. 県・市町村の取組み ケース②八代市



八代市デジタル医療MaaS推進の取組み

- ・ 遠隔医療機器等を搭載した移動診療車に看護師が乗車し、オンライン(遠隔)により診療所にいる医師が患者を診察。
 - ・ 配車予約情報共有システムにより、オンライン診療のスケジュールを管理。
- ※ 地方創生推進交付金(3カ年)を活用

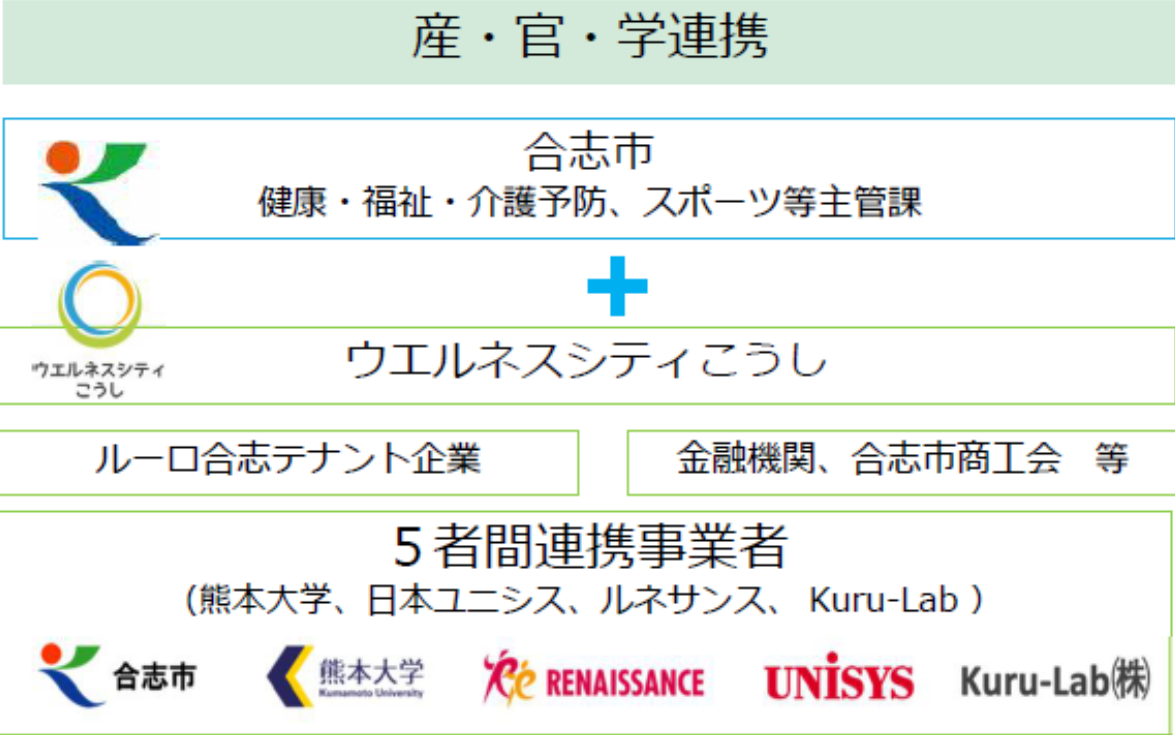


4. 県・市町村の取組み ケース③合志市



「ウェルネスシティこうし」の取組み

- 健康寿命の延伸を実現するため関係機関が連携し、公的保険外のサービスを活用したセルフメディケーションを推進することにより、新ヘルスケア産業市場の活性化及び異業種間連携新事業創出事業を行うことを目的とする。もって、地域の豊かで持続的な発展に寄与する。



【具体的な取組例】

- 医療と連携した運動・スポーツの習慣化の実践「カラダ健康プログラム」
- マイライフカルテデータベース構築
- バーチャルウォーキング大会
- 電動アシスト自転車導入事業 等



【参考】「ルーロ合志」外観



【参考】「コレカラダ」

4. 県・市町村の取組み ケース④小国町



小国町 × 医療MaaSの取組み

- ・2023年7月より病院と専用診療車をインターネットで繋ぎ、遠隔地医療を実施。
- ・病院主体の取組みとして全国で初めて「デジタル田園都市国家構想」補助金を活用。

熊本・小国効率病院がオンライン診療車導入でへき地医療、通院負担を軽減



新聞社

2023年05月24日 熊本日日新聞



オンライン診療車による遠隔診療を導入する小国公立病院＝小国町

出展：2023年5月24日熊本日日新聞より

オンライン診療車による遠隔診療を導入する小国公立病院＝小国町 熊本県の小国公立病院（小国町）は7月にも、オンライン診療車を使った遠隔地診療「医療MaaS（マース）」の運用を始める。へき地に住む高齢者の ...



デモ(見本)車両の内部

4. 県・市町村の取組み ケース⑤熊本県

事例創出（DX公募型実証事業）

① 目的

- DX事例の横展開を目的として企業提案により実施
- 今年度新たに先端技術（ブロックチェーン、NFT等）を活用した実証事例も募集

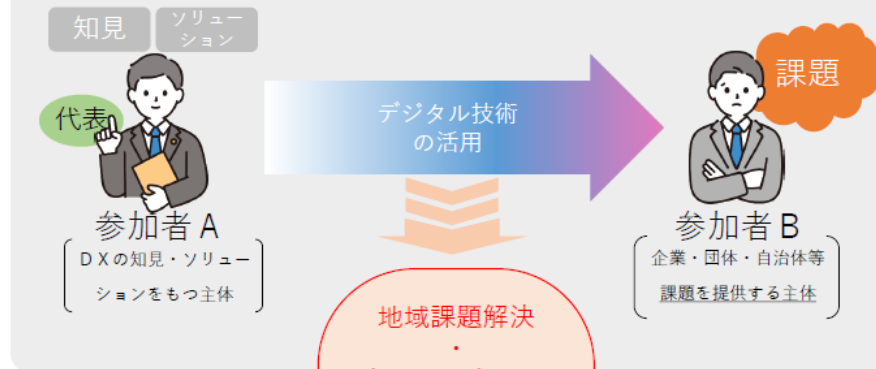
② 概要

【一般枠】 デジタルやデータを活用した事例創出
4件採択

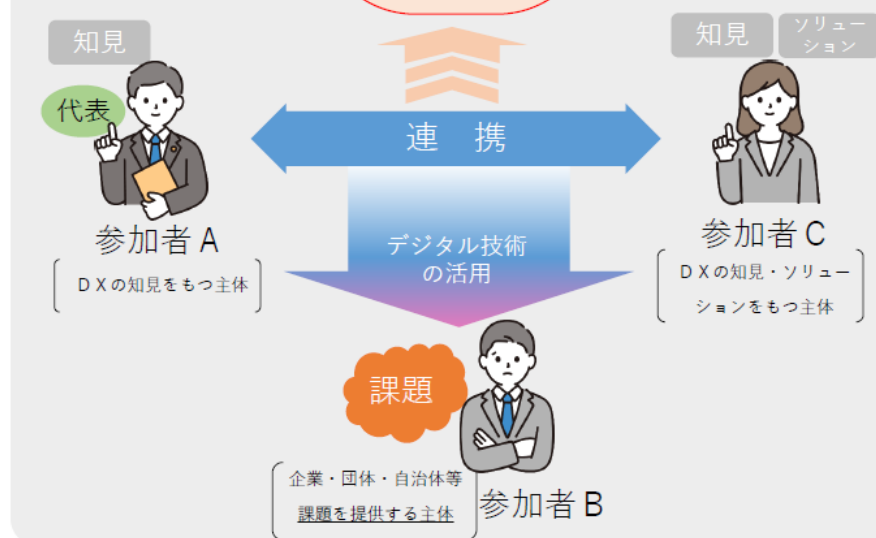
【先端枠】 web3等先端技術を活用した事例創出
2件採択

国内外から **計43件(構成116企業)**の応募

提案グループ例①



提案グループ例②



4. 県・市町村の取組み ケース⑤熊本県

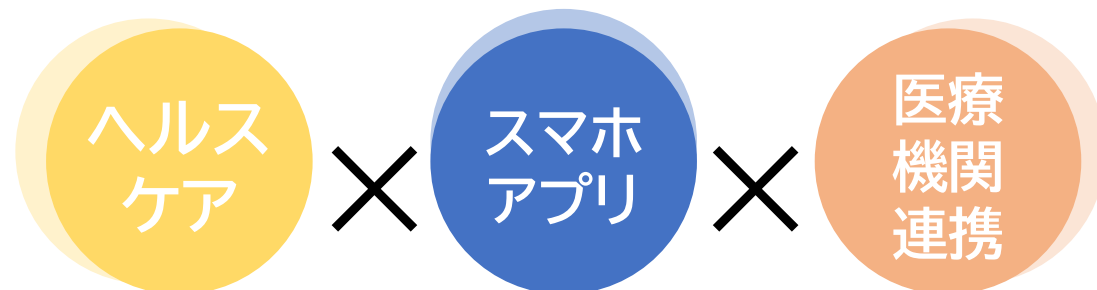
①センシング、電子カルテなどの連携による健康データの可視化

◆医療や健康データを統合し、本人・家族による見える化

- ・電子カルテや健康診断、お薬情報のデータ連携
- ・体重、心拍などヘルスケアデータも取り込み
- ・スマホアプリで健康状態の見える化

➡効果

- ・本人の健康意識の変容
- ・家族からの見守りの実現



4. 県・市町村の取組み ケース⑤熊本県

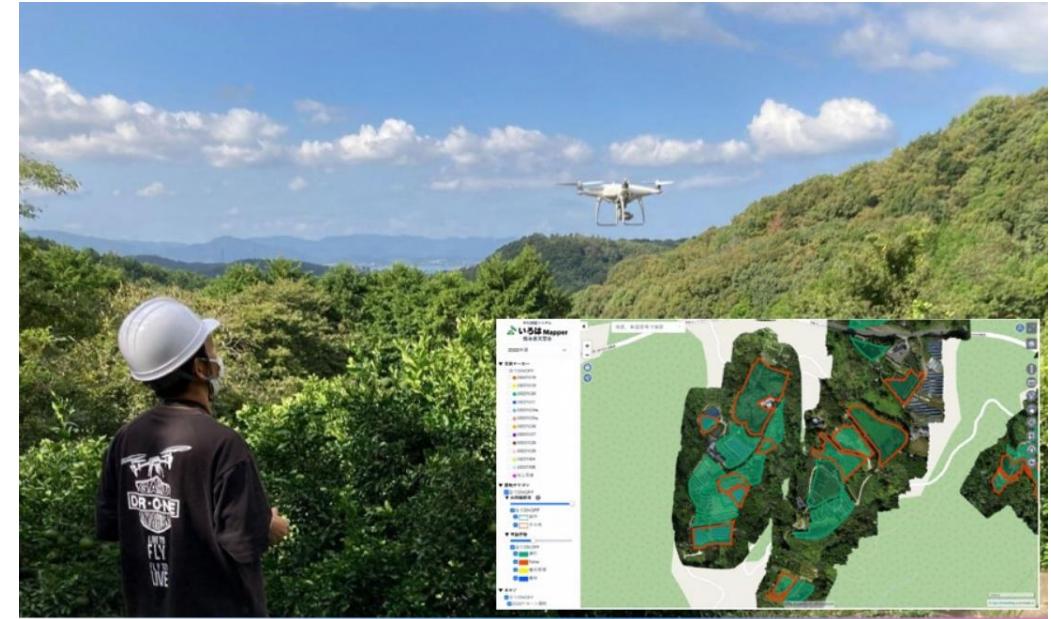
②行政が行う「農地・営農状況調査」へのデジタル技術の活用、業務効率化

◆ドローン、AI画像解析技術などの活用により 現地確認作業の省力化を図る取組み

- ・ドローン撮影画像を、AIで自動判定
(作付け状況、作物を判断)
- ・農地営農データをプラットフォームに集約

➡効果

- ・市の営農状況確認作業の大幅省力化
737時間／年→194時間／年(▲70%以上)



5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

(1) データ利活用社会の必要性

● 「データ利活用社会」とは

官民データ活用の推進は、地域経済の活性化及び地域における就業の機会の創出を通じた自立的で個性豊かな地域社会の形成並びに新たな事業の創出並びに産業の健全な発展及び国際競争力の強化を図ることにより、活力ある日本社会の実現に寄与することを旨として、行われなければならない。
(官民データ活用推進基本法より)

● 県の目指す「データ利活用社会」を実現するためには以下が必要

- ▶ 有用なデジタルデータが存在すること（ビッグデータ、オープンデータ、パーソナルデータ）
- ▶ 公共、民間双方のデータをやり取りする為の、基盤・ガバナンスの整備されていること
- ▶ 本人同意のもとで様々な主体が保有するデータを活用できること
- ▶ データを収集・処理・分析でき、アクションにつなげられる人材の育成環境が整っていること

5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

(2) スマートシティの推進

- デジタルによる課題解決などの地域づくり、都市づくりの取組み
- 県では、スマートシティ4市を積極支援
- 本県におけるデータ活用のけん引役としても期待

熊本市



- ◆ スマートシティくまもと推進戦略
「誰もが快適で利便性の高い暮らしを
実感できる持続可能なまち」

八代市



- ◆ 八代市デジタル化推進計画
「デジタルでつながる未来都市」

人吉市



- ◆ 人吉市スーパーシティ構想
「球磨川と共に創るみんなが
安心して住み続けられるまち」

荒尾市



- ◆ 荒尾ウェルビーイングスマートシティ
「人がつながり 幸せをつくる
快適未来都市」

5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

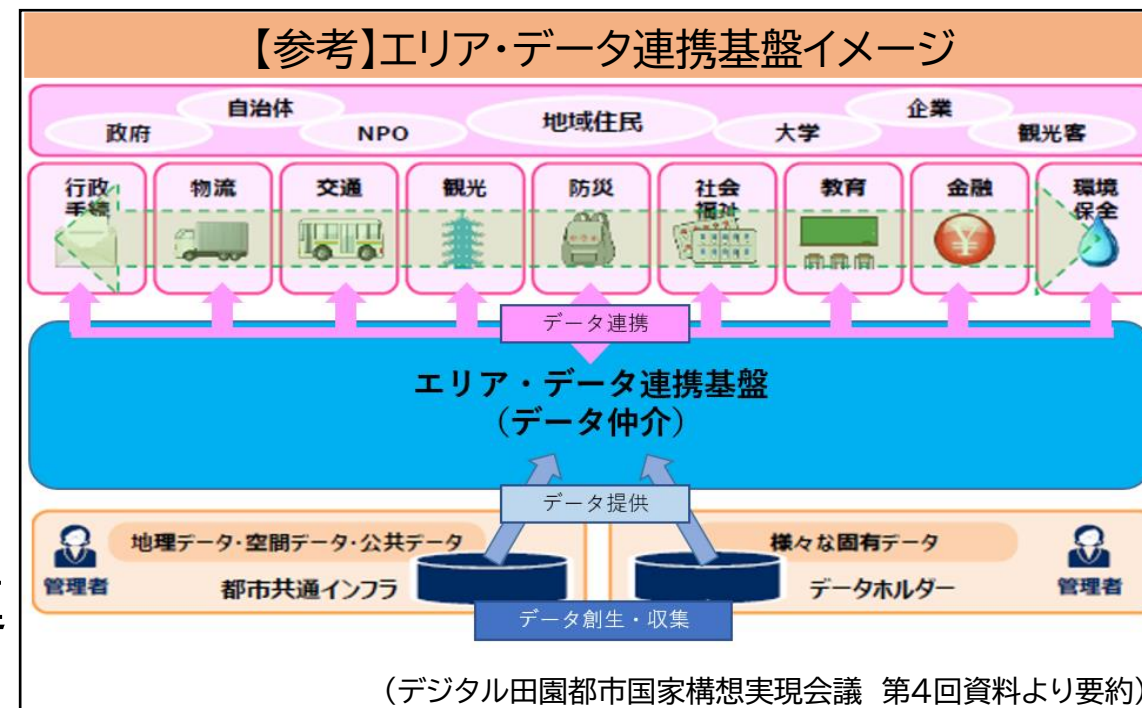
(3) データ連携基盤の構築

① データ連携基盤とは

- 行政や民間が保有する様々なデータを仲介・連携させる機能・役割を持つもの
- 地域におけるデジタルサービスの創造に寄与する事が期待される

② 熊本県におけるデータ連携基盤

- 熊本県では、令和6年度の運用開始に向け、構築を進めている
- スマートシティなど12市町村との共同運用
- データを活用した県民サービスの充実を推進



5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

(4) オープンデータの推進

(1) 趣旨

- デジタル社会には、データ連携基盤と同時に、誰でも活用できる多くのデータが必要

(2) 熊本県の取り組み

令和4年度

- 県行政のオープンデータの拡充（新たに約300件）

(例) 統計関係 : 人口、世帯数、県民経済計算、産業連関表、事務所
施設関係 : 計測震度計設置箇所一覧、漁港、県管理橋梁一覧
その他 : 津波浸水想定区域図、県の温室効果ガス排出量

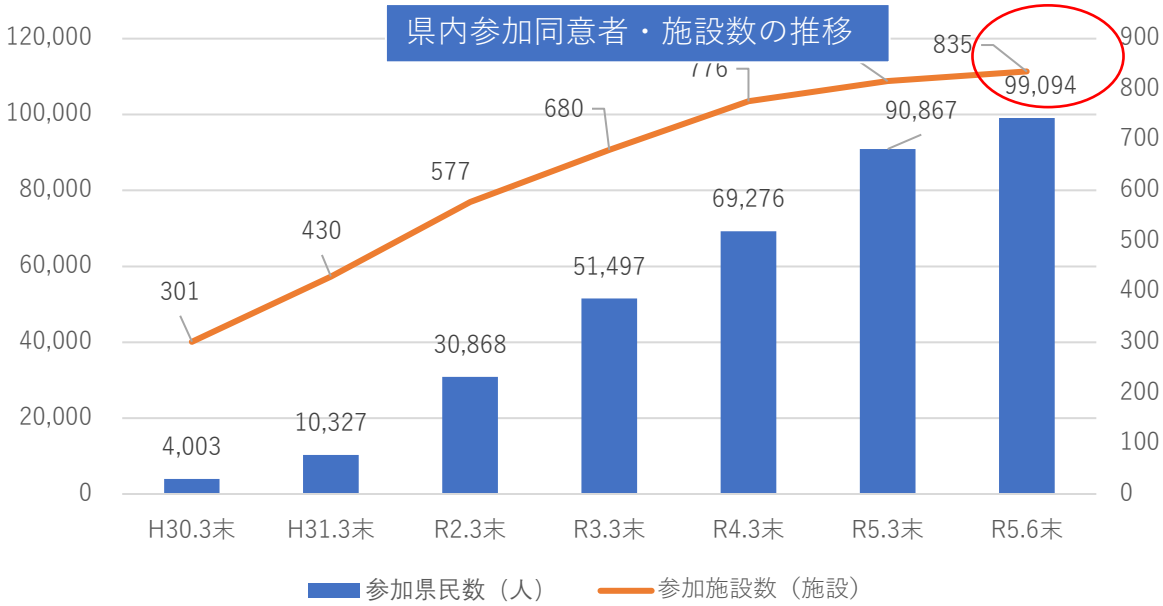
令和5年度

- 市町村のオープンデータ支援
- 県行政のさらなる拡充(民間ニーズなど)



5. 熊本県における「データ利活用社会」の推進

(5) くまもとメディカルネットワークの医療データ利用推進



約 10 万人の患者情報を利用 共同研究などの仕組み整備へ

09月14日 12時07分



熊本県と県医師会などは13日、会議を開き、県内の患者およそ10万人のビッグデータを利用して、熊本大学と民間が共同研究などを行う仕組みを整備することを決めました。

県内では、患者の治療歴などを医療機関や薬局が共有できる「くま

もとメディカルネットワーク」が平成27年から運用され、およそ10万人の患者のデータが登録されています。

県はこのネットワークをさらに活用するため、県医師会や大学などでつくる会議を設置し、協議を進めてきました。

そして、13日に熊本市で開かれた会議で、登録された患者の情報をビッグデータとして利用して、熊本大学と民間事業者が共同研究などを行う仕組みを整備することを決めました。

(NHK webニュースより抜粋)

6. 今後の展望について

●企業・団体活動におけるデジタル化・DXの浸透

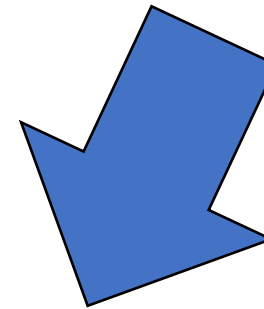
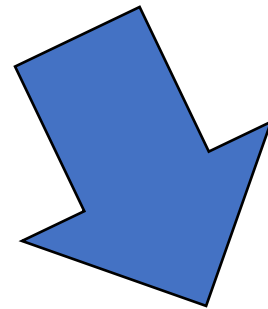
- ・生産性の向上
- ・産業競争力の強化

●行政(県・市町村)におけるデジタル化・DXの推進

- ・効率的な行政運営
- ・住民サービスの向上

●ヘルスケア分野におけるデジタル化・DXの推進

- ・医療現場の効率化
- ・県民の健康促進
- ・新サービス創出



県民がデジタル社会を体感

デジタルにより熊本県の地域活性化を実現

熊本県におけるデジタル戦略について



第15回熊本県医療・保健・福祉連携学会

ご清聴ありがとうございました。